

# 都市構造可視化の可能性

～立体的視覚によるデータ把握～



注：都市構造可視化計画、  
Image Landsat / Copernicus、Google Earthを使用

豊中市

都市計画推進部

都市整備課

# 1.はじめに

都市構造可視化計画ウェブサイト等を用いて、  
データの項目や精度等を検討



注：都市構造可視化計画、  
Image Landsat / Copernicus、Google Earthを使用

都市構造可視化計画ウェブサイト  
から各種データをダウンロードし、  
Google Earthで表示



注：都市構造可視化計画、  
Image Landsat / Copernicus、Google Earthを使用

他の職員にも意見を聞きながら、  
活用方法を検討

# 2. 従来データの確認

## 市が公表している従来データを確認

○地域別に平成7年（1995年）と平成22年（2010年）の人口を比較すると、北部地域、東部地域で増加、西部地域、南部地域で減少しています。特に南部地域においては、9千人以上減少しており、他の地域とくらべ、減少幅が大きくなっています。

【地域別人口推移】



出典：各年国勢調査

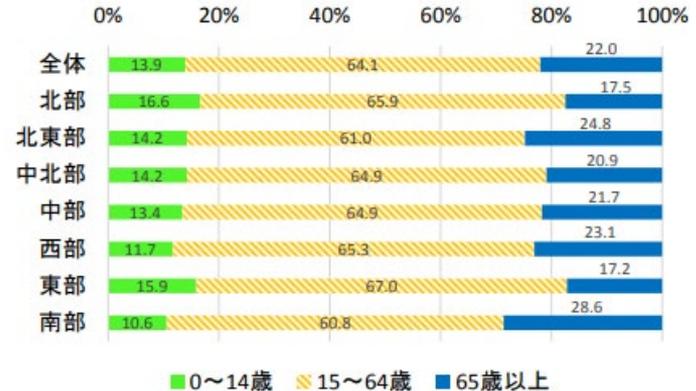
【地域区分図】



地域	地域区分
北部	大阪中央環状線以北の地域および千里緑地以西の地域
北東部	千里ニュータウンおよび上新田からなる地域
中北部	阪急宝塚線沿線地域で千里緑地以西および旧大阪中央環状線以北の地域
中部	阪急宝塚線沿線地域で旧大阪中央環状線以南および名神高速道路以北の地域
西部	阪神高速道路および大阪国際空港周辺地以西の地域と阪急飯池駅周辺の地域
東部	北大阪急行・御堂筋線沿線地域で天竺川以東および名神高速道路以北の地域
南部	名神高速道路以南の地域

○地域別の状況を見ると、北部地域と東部地域では14歳以下の年少人口の割合が他の地域と比べると高く、南部地域では65歳以上の老年人口の割合が高くなっています。

【地域別年齢構成割合】



出典：平成22年国勢調査

- ・ 地区別の人口を整理しているものの、直感的に分かりづらい

注：豊中市まち・ひと・しごと創生人口ビジョンより

# 3. 従来データの確認

## 市が公表している従来データを確認

### 3 人口推計

#### (1) 国立社会保障・人口問題研究所の人口推計の概要

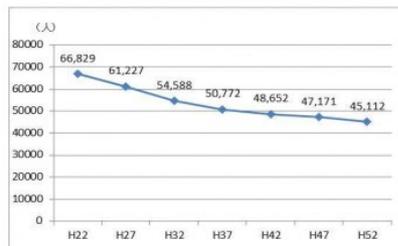
- 国立社会保障・人口問題研究所の「日本の地域別将来推計人口（平成25年3月推計）」によると、豊中市の人口は、平成22年（2010年）の約38万9千人をピークに減少を続け、25年後の平成52年（2040年）には、約33万5千人と現在の約14%減となると推計されています。
- 20～44歳の女性人口においては、平成22年（2010年）の約6万7千人から平成52年（2040年）には約4万5千人と、約32%減となると予想されています。

【総人口及び年齢3区分別人口の推計値推移】



出典：各年国立社会保障・人口問題研究所推計

【女性20～44歳人口の推計値推移】

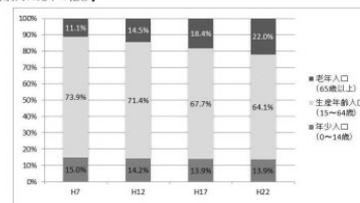


出典：各年国立社会保障・人口問題研究所推計

#### (2) 年齢別人口

- 少子高齢化が進行しており、平成7年（1995年）から平成22年（2010年）にかけて、老年人口が増加し、生産年齢人口及び年少人口が減少しています。
- 人口ピラミッド比較をみると、生産年齢人口の中でも、特に「15歳から29歳」、「45歳から59歳」の人口が減少しています。

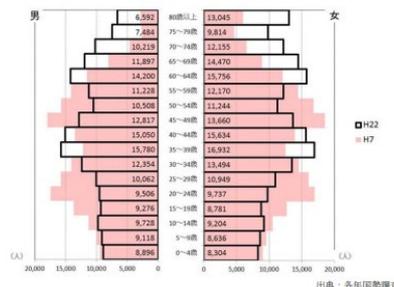
【年齢3区分別人口比率の推移】



出典：各年国勢調査

※ 集計は、小取点第2位を四捨五入するため、数値の合計が100.0%にならない場合があります。この後のページにある100%積み上げ棒グラフについても同様です。

【人口ピラミッド比較】



出典：各年国勢調査

- ・ 将来の人口を整理しているものの、直感的に分かりづらい

注：豊中市まち・ひと・しごと創生人口ビジョンより

# 4.データの可視化（サンプル）

## 内部共有用として、市域における「将来の人口分布の経年変化」についてのデータを可視化



- ・ 市域の北部に人口が偏っている
- ・ 市域の南部は65歳以上人口の割合が高い
- ・ 今後は全域で人口減少と高齢化が続き、特に市域の南部ではその変化が顕著



2010年

注：都市構造可視化計画、Image Landsat / Copernicus Google Earthを使用



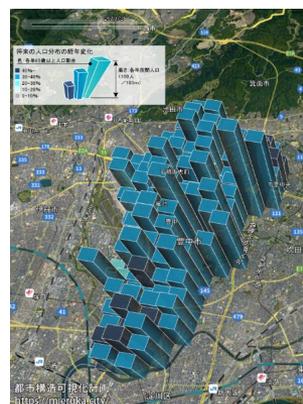
2020年

注：都市構造可視化計画、Image Landsat / Copernicus Google Earthを使用



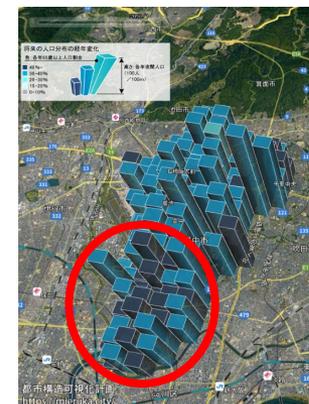
2030年

注：都市構造可視化計画、Image Landsat / Copernicus Google Earthを使用



2040年

注：都市構造可視化計画、Image Landsat / Copernicus Google Earthを使用



2050年

注：都市構造可視化計画、Image Landsat / Copernicus Google Earthを使用

# 5. 課内での共有

## 課内で都市構造可視化の可能性について共有



注：都市構造可視化計画、  
Image Landsat / Copernicus、Google Earthを使用

- ・ 都市構造可視化の意義を共有
- ・ 都市構造可視化計画のWEBサイトを共有
- ・ 作成したサンプルデータの共有

- ・ 他の様々なデータを用いて、  
可視化までの手順を共有
- ・ GISとの連携の可能性について共有



注：都市構造可視化計画、  
Image Landsat / Copernicus、Google Earthを使用

## 6. 今後の活用方法

### 都市構造の可視化のメリット等から、 今後の活用方法について検討

#### ○メリット

- ・ 各種グラフを用いるよりも、立体的で圧倒的に分かりやすい
- ・ GISを熟知していなくても、都市構造可視化計画にUPされているデータであれば誰でも簡単に可視化が可能
- ・ GISを用いることで、アイデア次第でその活用方法は無限大
- ・ 出典元明記のルールを遵守すれば、対外的な説明資料にも活用できる

#### ○デメリット

- ・ Google Earthを使用できる端末での操作が必要
- ・ 複数のデータをダウンロードや起動させる場合、ある程度PCのスペックが必要



#### <今後の活用>

- ・ 各種計画立案時での活用が期待できる
- ・ 防災部局や企画部局での活用も期待できる



広域連携都市拠点に位置  
付ける大阪国際空港

### ○位置

大阪府の北部に位置し、「住宅都市」「教育文化都市」として発展

### ○人口

406,931人  
(令和5年4月1日時点)

### ○面積

36.60 km<sup>2</sup>  
(市内全域が市街化区域)

### ○ランキング2023 (関西圏)

住みたい街	8位	千里中央
住みたい自治体	8位	豊中市